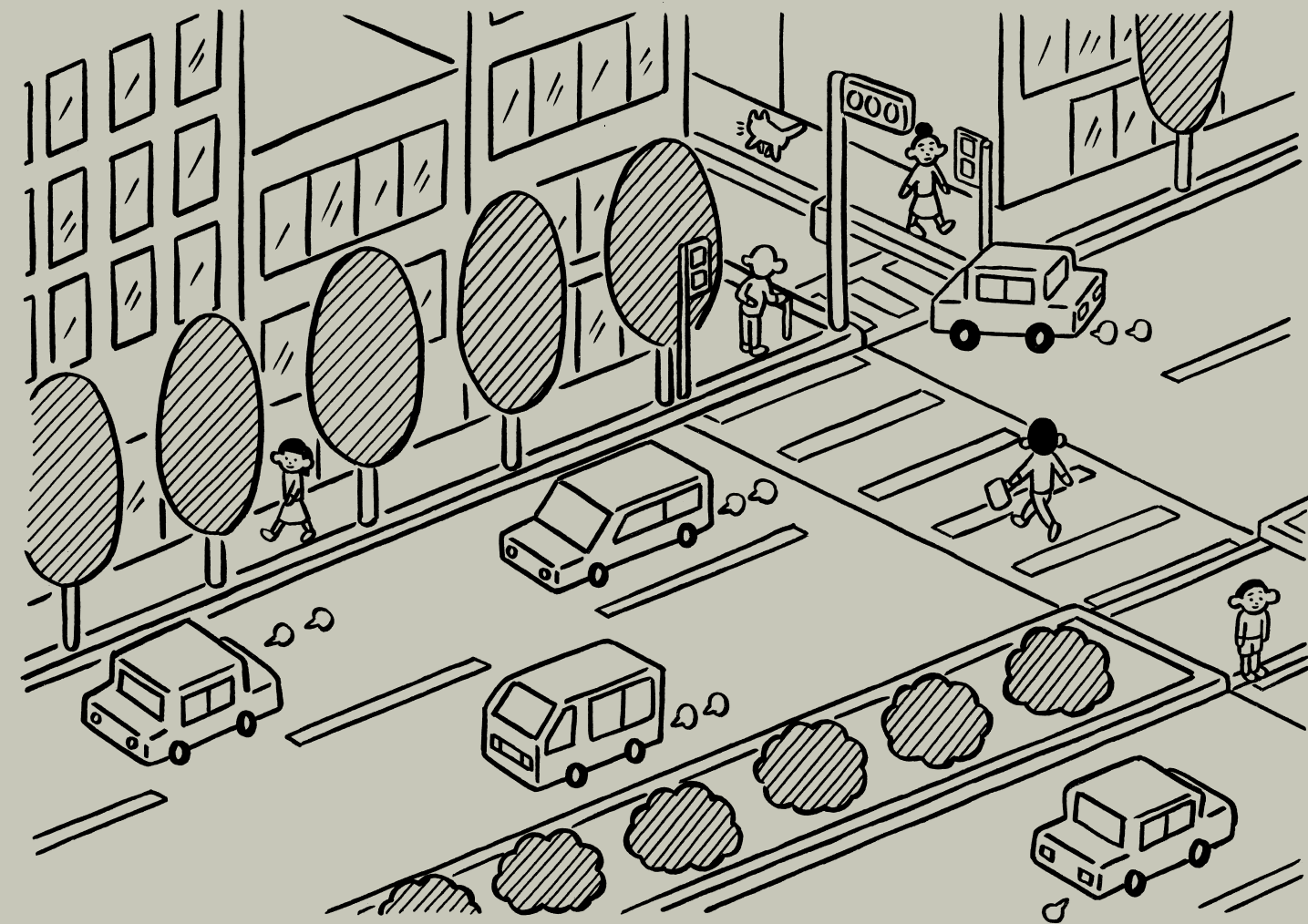




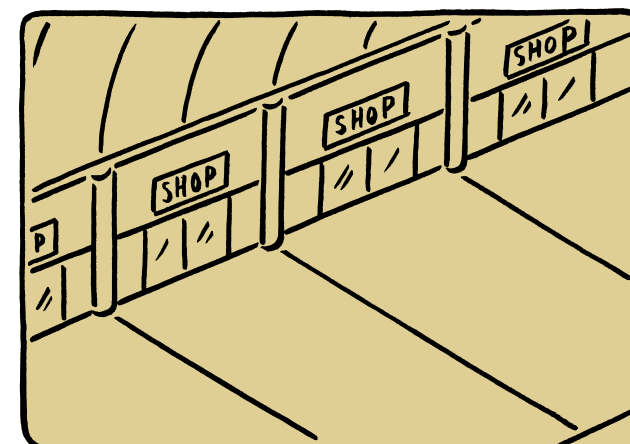
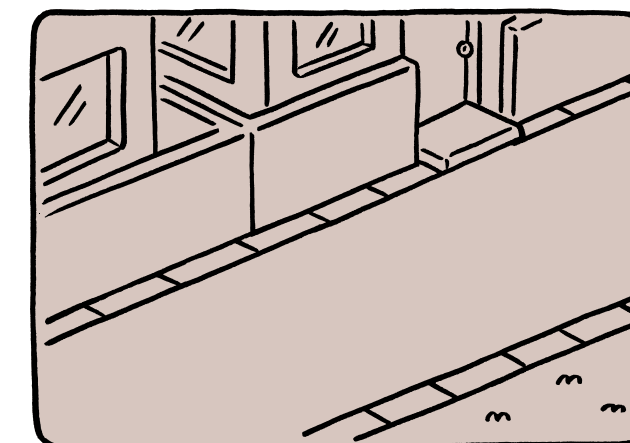
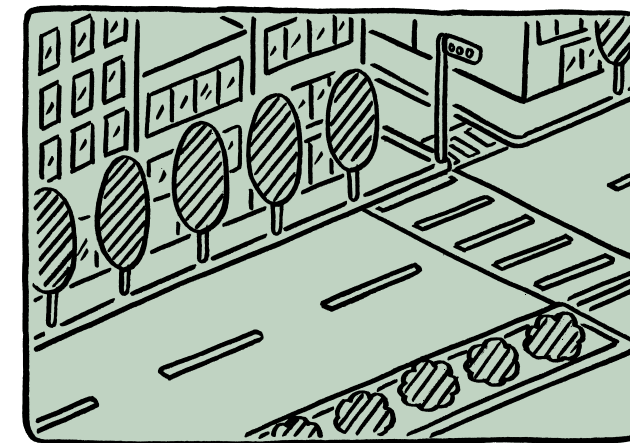
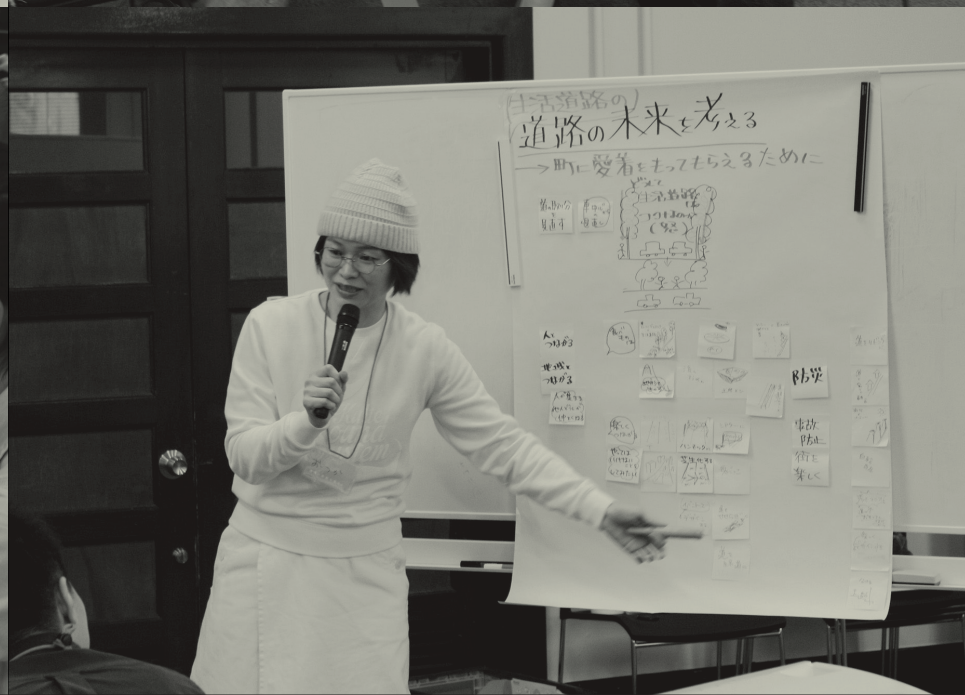
道路の未来を考える

+クリエイティブワークショップ成果報告



道路の未来、 あなたも考えられます。

神戸市では、市民ニーズや地域課題に対応するために、道路から「暮らしの豊かさ」をめざす「道路のリデザイン」の取り組みの一環として、市民の皆さんとともに「道路のあり方について考える」取り組みを進めます。その取り組みの第1弾としてデザイン・クリエイティブセンター神戸との共催により、「道路の未来を考える」ワークショップを開催しました。日頃何気なく利用している道を、「自分たちの道」と感じ、さらに利用することで愛着が持てる仕組みを、参加者みんなで考えるワークショップです。道路には、不法駐輪や道路の美化など様々な課題がありますが、生活しているなかで必ずと言っていいほど毎日通ります。その道路に対して、+クリエイティブの視点から「もっとこんな場所があったらいい」「こんな使い方ができたらいい」など、活用の幅が広がるような、既成概念にとらわれない夢が広がるようなアイデアを考えました。



ワークショップ
道路の未来を考える

2016年2月14日、約30名の参加者が集まり、道路の未来について考えました。考える対象を「大通り」「生活道路」「商店街」の3つに分け、それぞれの道路でしてみたいこと、思い描く道路の未来の姿を、グループで話し合いました。

未来を描く

既成概念を取り払い、
「道路」に対してワクワクするような未来を描いてみた

フラワーロードを本当の
フラワーロードに

思いっきり花を植えて、花
(=フラワー)の道(=ロード)をつくる。

やってはいけないことを
してみる

例えば、道路で儲けてみる
など、道路の使い方の新たな
挑戦をしていく。

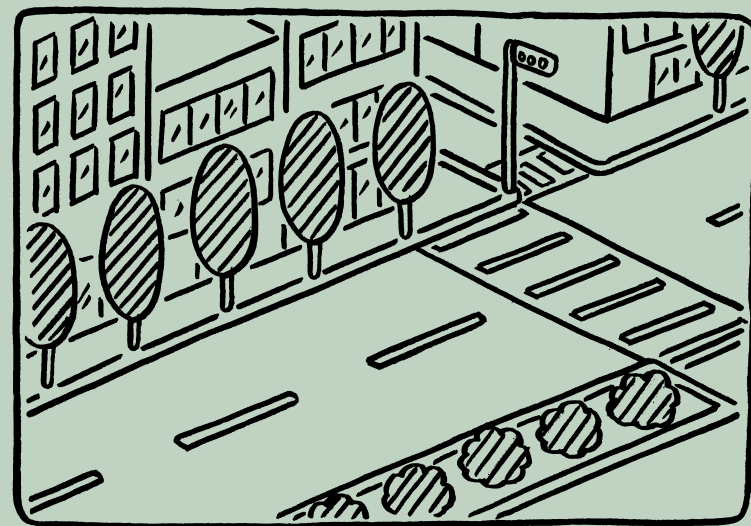
まちに愛着を持ってもら
えるための、道路の未来

ただ通るだけの道じゃなく、
もっと身近に感じて道路を
好きになってもらおう。

道に生活がはみでる日

たまには、生活する場所と
して道路をつかってみても
いいのでは。

大通り① 未来



車線が複数ある

まちのメインの道路。

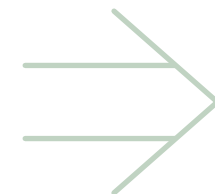
人も車もたくさん通るが、

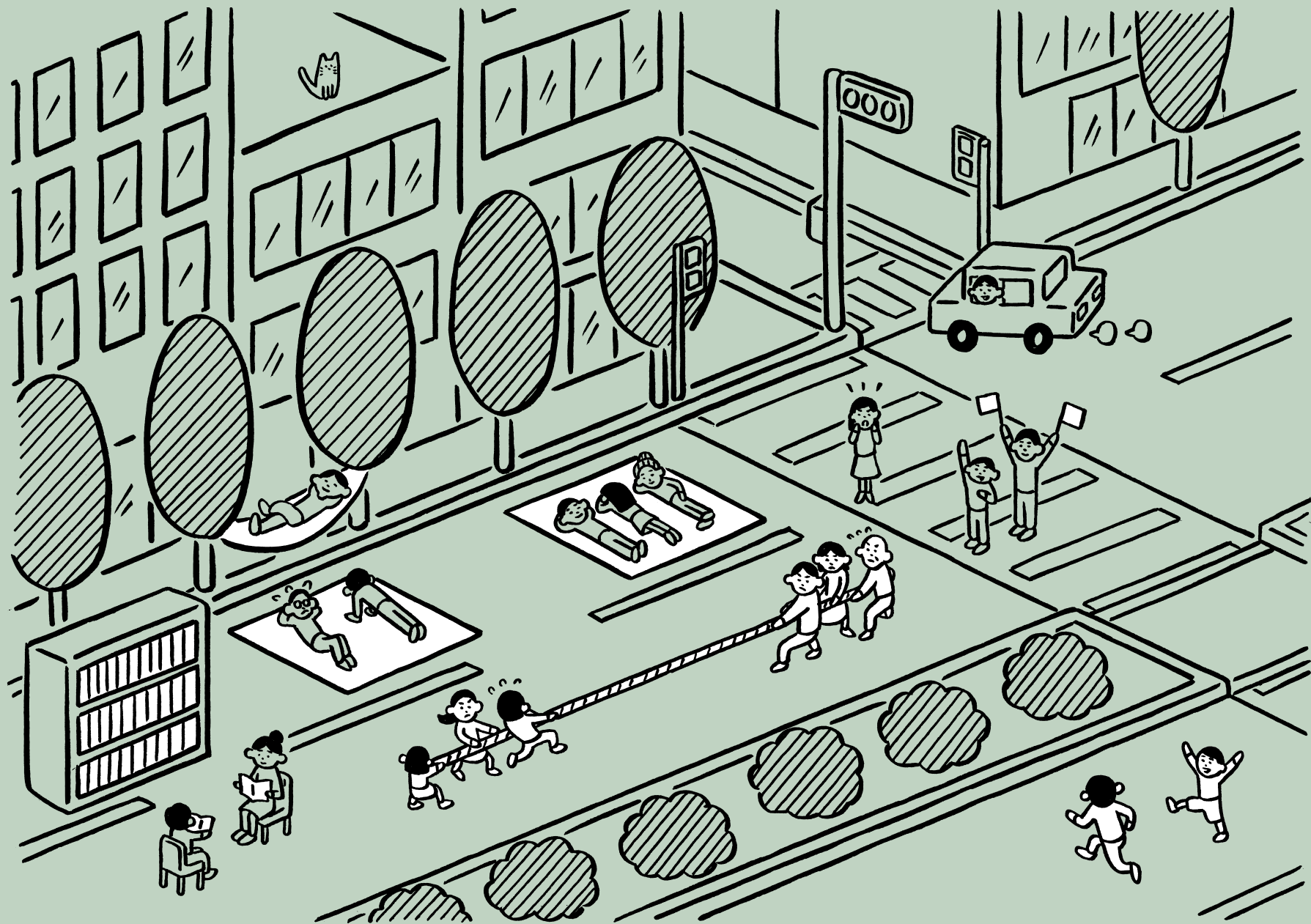
その大通りが変われば

まちの印象も変わるだろう。

こんなことを大通りでしてみたい

道路に寝転ぶ／筋トレをする／大運動会／街路樹ハンモック／まちライブラリ／中央分離帯花壇／路肩市民農園、市民花壇／オープンカフェ／オープン英会話／オープンクッキング／映画上映／マルシェ／道路で鬼ごっこ／花火大会／大道芸／ライブ／夜屋台



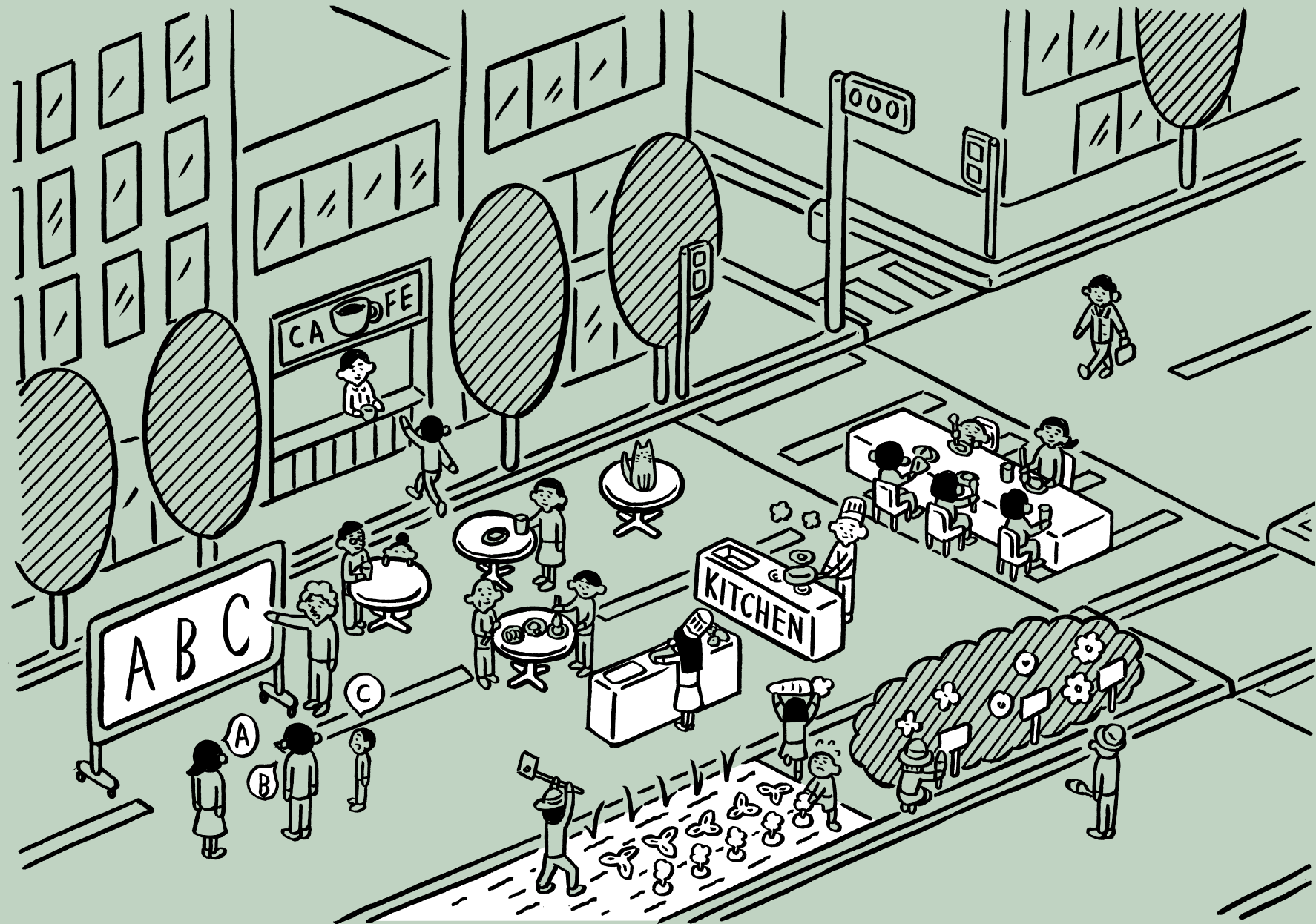


土日のみ人のための道路になる

車道が中心につくられている道路だが、土日のみ、その車道を人のための空間として使ってみる。

- 1 道路に寝転ぶ
- 2 筋トレをする
- 3 大運動会

- 4 街路樹ハンモック
- 5 まちライブラリ



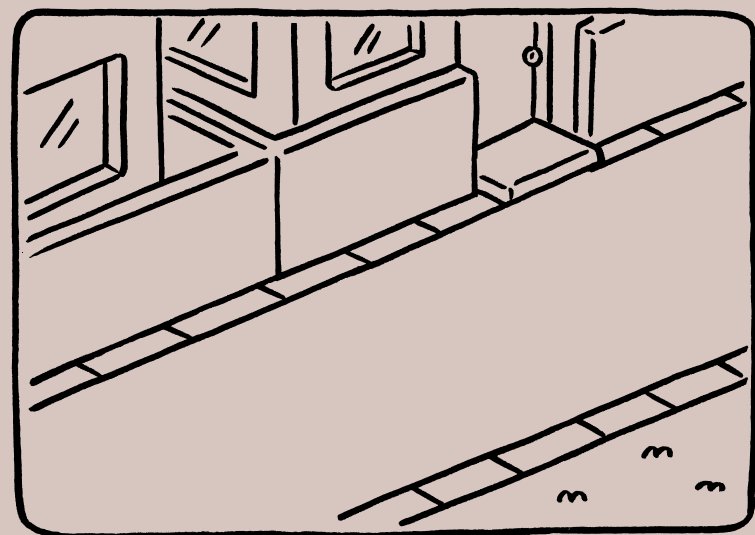
日常使いの大通り

仕事の帰り道に習い事をしたり、
趣味を楽しんだりと、
日常から使える場所を道路につくる。

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 中央分離帯花壇 | 4 オープン英会話 |
| 2 路肩市民農園、市民花壇 | 5 オープンクッキング |
| 3 オープンカフェ | |

生活道路

未来

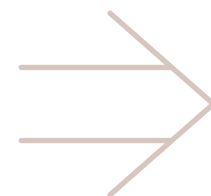


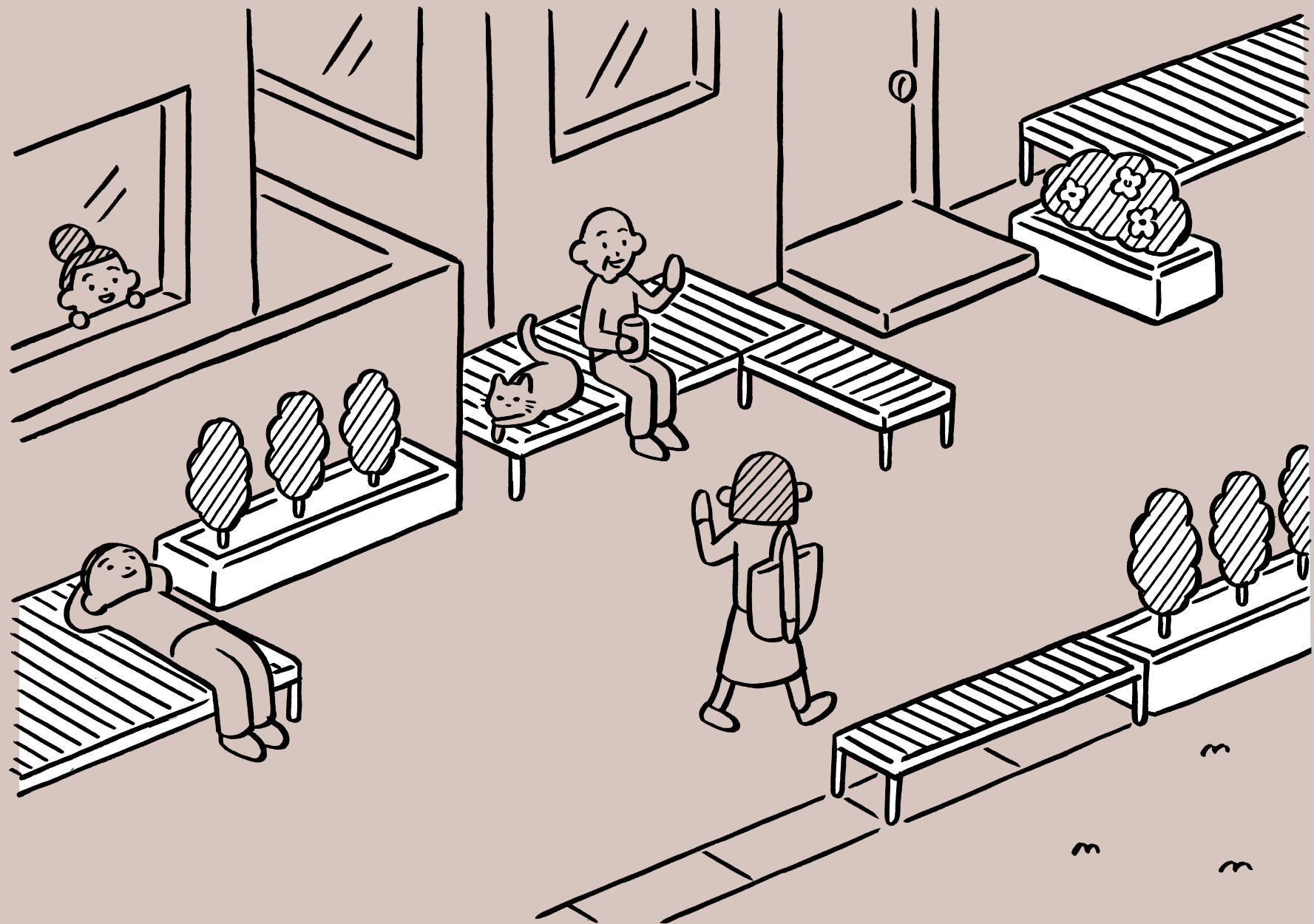
住居の合間にある道路。

道路を暮らしの場の
一部として考えてみる。

こんなことを生活道路でしてみたい

歩道を活用／エンガワキットを置く／前庭キットを置く／
ちょっと休める／ちゃぶ台(こたつ)を置く／タープを張る／寝
そべって映画を観る／食べられるものが生る木が植わっている／
防災食として役立つローリングストック／坂道を活かして流しそ
うめん／マンホールの熱で焼肉／防災道路／ソーラー発電街灯

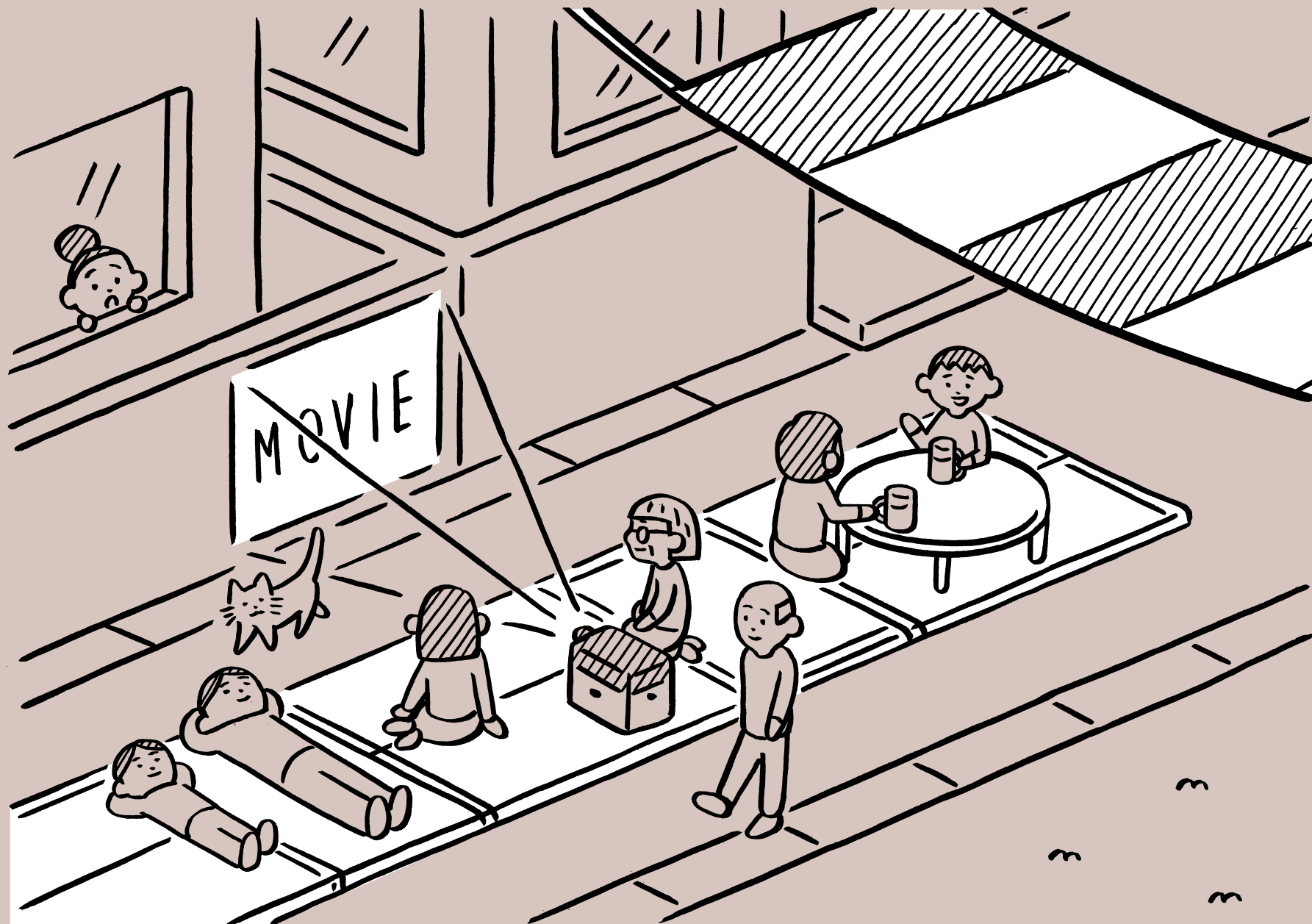




道路 × エンガワ

道路の両側に、
縁側をつくってみる。

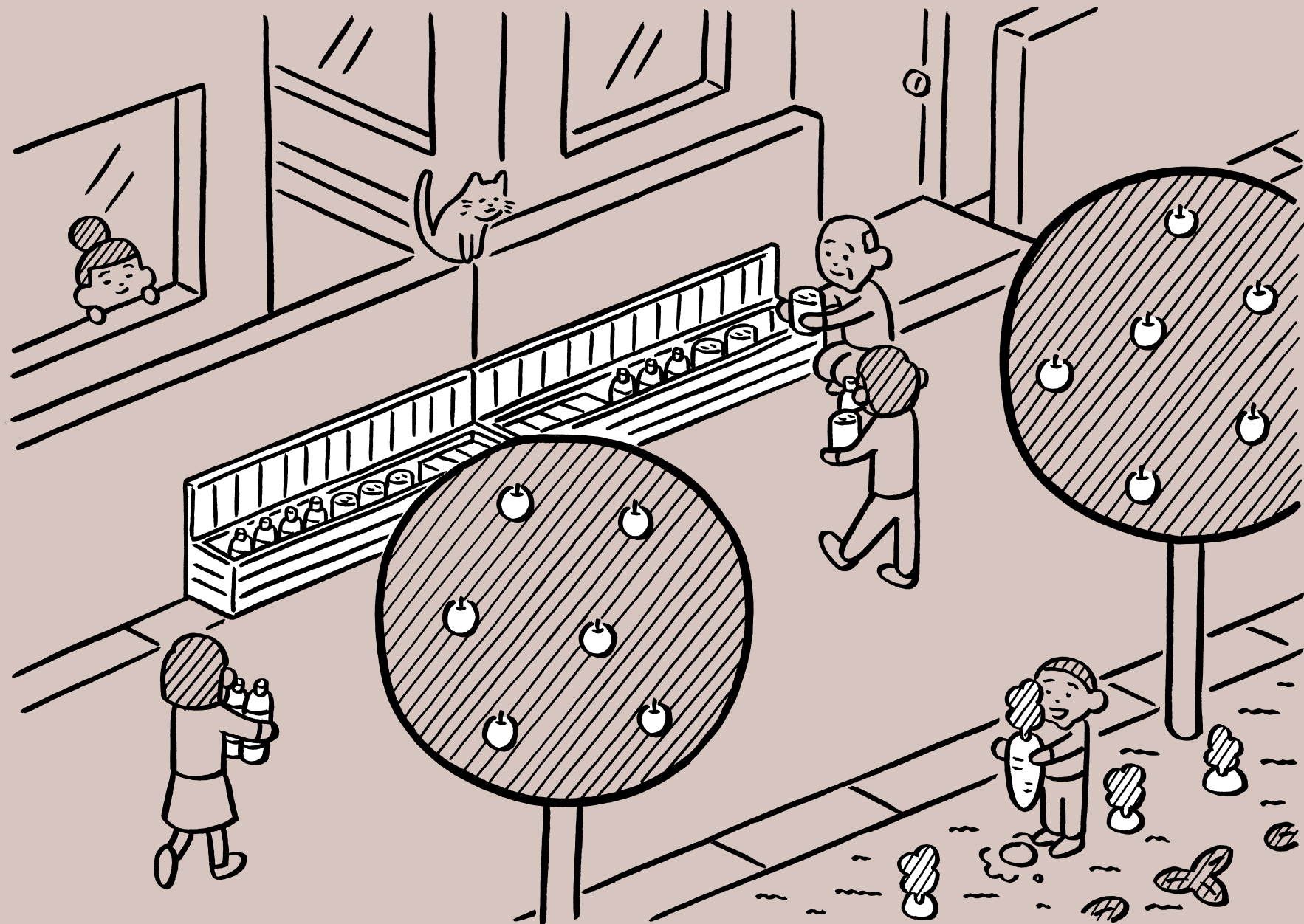
- 1 歩道を活用
- 2 エンガワキットを置く
- 3 前庭キットを置く
- 4 ちょっと休める



道路 × タタミ

道路いっばいに畳を敷き詰めてみたい。
敷き詰めてみたら、
巨大なリビングになるかも。

- 1 ちゃぶ台(こたつ)を置く
- 2 タープを張る
- 3 寝そべって映画を観る



道路 × 食

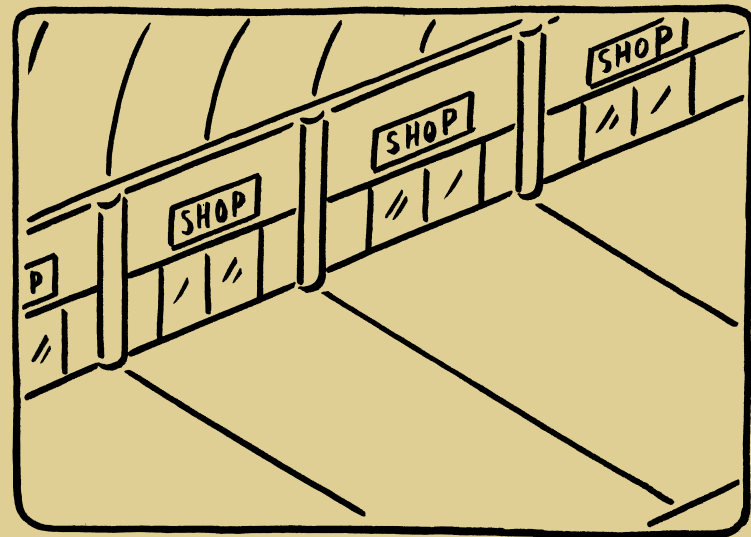
道路を食料の備蓄場所と考えてみたら、
災害時にとっても役に立つ。

1 食べられるものなる木が
植わっている

2 防災食として役立つ
ローリングストック

商店街

未来

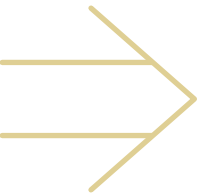


商店がならぶ道路。

色々な人がいるからこそ、
色々なことができるかも。

こんなことを商店街でしてみたい

雨の日にも楽しめる／水族館／動物園／植物／天井に3Dマッピング／天井にプラネタリウム／各店舗の店主が毎日色々なことを教えてくれる／暮らしの知恵ワークショップ／情報交換の掲示板／マルシェをして生産者と消費者の意見交換会／昔のまちの風景写真展示会／路上映画館





五感で感じる商店街

こども目線で考えて、
五感を使って楽しめる商店街を
考えてみる。

1 雨の日にも楽しめる

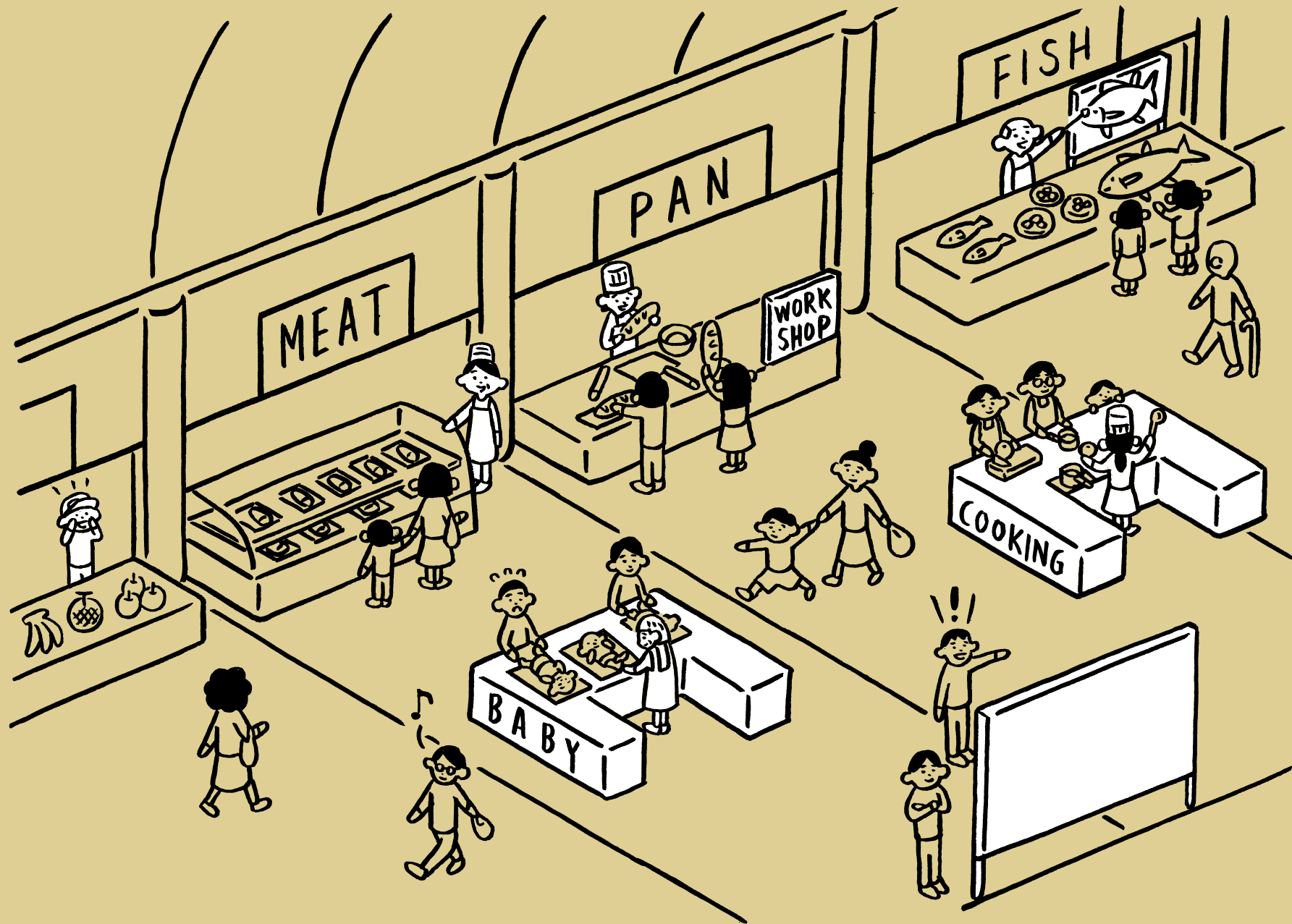
2 水族館

3 動物園

4 植物

5 天井に3Dマッピング

6 天井にプラネタリウム



専門性を活かした情報発信の場

様々な専門性を持った商店街の人は、
人材と知識の宝庫！
まちのシンクタンクをつくってみる。

- 1 暮らしの知恵
ワークショップ
- 2 情報交換の掲示板

- 3 各店舗の店主が
毎日色々なことを
教えてくれる

2015年の夏、愛媛県松山市の商店街で小さな実験を行いました。

折りたためるイスやテーブル、プランターの植栽など、簡単に動かせる道具だけを使って、道路に街のリビングを作る実験です。印象的だったのは、通りすがりの人々が、企画した我々も考えつかないような実に様々な方法で、道路での時間を過ごしてくれたこと。いつもは素通りしてしまう、むしろ、歩くこと以外は想像もできないような場所が、ちょっとした工夫で居心地よく日常を過ごせる場に変わりうる——それを経験し、実感できたことは、市民の方々にとって一つの発見だったと思います。

道路は街の最大の不動産、市民にとっての貴重な財産です。それをどう使いこなすか、私たちの知恵とやる気によって、暮らしの豊かさや、まちの価値が変わるとしたら、それってとても楽しくありませんか？この先、人口が急速に減少していく日本では、右肩上がりの時代に当たり前だったことが、どんどん通用しなくなります。そんな時は、一旦、従来の常識を全て忘れて、新しい目で道路の使い方を考えてみましょう。きっとその場所にしかない、新しい価値をつくる道路の未来が見えてくるはずです。

KIITOという、クリエイティブな存在によって、どんな道路の未来が見えるのか、これからの神戸が楽しみです。



ゲスト

西尾 京介 にしお きょうすけ

株式会社日建設計総合研究所 (NSRI)

株式会社日建設計総合研究所主任研究員。1966年京都市生まれ。大阪大学大学院工学研究科博士前期課程修了。株式会社日建設計入社後、大規模都市開発の計画、都市のビジョン・戦略策定や都市計画、都市交通計画、再開発等の各種調査・計画業務に従事。2006年、都市、環境のコンサルティングを行う日建設計総合研究所の設立に伴い、現職。中心市街地の活性化やまちなか再生に関する、国や自治体等の調査、企画、コンサルティングを手がける。一般社団法人都市計画コンサルタント協会理事。



講師

永田 宏和 ながた ひろかず

デザイン・クリエイティブセンター神戸副センター長

1968年兵庫県生まれ。企画・プロデューサー。1993年大阪大学大学院修了後、大手建設会社勤務を経て、2001年「iop都市文化創造研究所」を設立。2006年「NPO法人プラス・アーツ」設立。2012年8月よりデザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO) の副センター長を務める。主な企画・プロデュースの仕事に、「水都大阪2009・水辺の文化座」、「イザ!カエルキャラバン!」(2005～)、「地震EXPO」(2006)、「ちびっこうべ」(2012～)などがある。

ある日、神戸市建設局道路部の方から「“道路”をテーマにワークショップはできませんか？」と相談を受けたことから実現した今回の「道路の未来を考える」ワークショップ。

最初お話を伺った時に思ったのは、毎日必ず通っている「道路」の未来のことを自分事として積極的に考えたことは意外にないな、ということでした。2014年度から「公園」の未来を考えるゼミを開講していた流れもあり、今回トリアルの的に1日だけのワークショップを開催しました。

「既成概念に捉われず“道路”の未来を自由に考えてみましょう。」これが、私が参加者の皆さんに提示した唯一のテーマです。さてさて希望にあふれた「道路」の未来は描けたのでしょうか。毎日通っている、当たり前のように存在している、自分の所有空間でない公共空間のことを考えるのは思いのほか難しかったのではないかと思います。

しかし、「公共」の概念がドラスティックに変化している現代にあって、身近な公共空間である「道路」について市民が自由に考え、話し合い、提案する、こうした場づくりには大きな意味があるように思います。まだ私たちはスタートラインに立ったに過ぎませんが、今後もこの身近な公共空間である「道路」の未来を考えていく場を作り続けていきたいと思います。

+クリエイティブワークショップ「道路の未来を考える」 概要

日 時 | 2016/2/14(日) 13:00 -17:00

主 催 | 神戸市建設局道路部、デザイン・クリエイティブセンター神戸

講 師 | 永田宏和(デザイン・クリエイティブセンター神戸 副センター長)

ゲスト | 西尾京介(株式会社 日建設計総合研究所(NSRI))

参加者 | 30名

13:00 企画趣旨説明

13:10 道路における現状の課題(神戸市建設局道路部・町田博之氏)

13:30 ゲストレクチャー | 道路活用事例紹介(西尾京介氏)

14:30 グループワーク「道路の未来を考える」

対象を「大通り」「生活道路」「商店街」の3つに分け、アイデアを考える

16:30 各グループ発表

17:00 終了

ワークショップ「道路の未来を考える」成果報告

2016年3月発行

制作・発行 | 神戸市、デザイン・クリエイティブセンター神戸

デザイン | 近藤聡/中野真希(明後日デザイン制作所)

イラストレーション | 山内庸資

ワークショップ参加者名

朝倉義裕/荒井千尋/粟井久仁子/石田有香/石原遥/一箭しのぶ/

上田博/植村一仁/大塚智郁子/海崎孝一/加治木陽子/鹿島康輔/

上房陽/津島秀郎/中橋拓也/橋尾明希/畑中達也/原盛夫/廣富純/

福嶋舞/福本颯太郎/福本亮介/藤田真治/藤田千夏/益田哲至/

松岡要子/三垣恭子/村山雅俊/吉田麻衣/ヨネツヨシヒサ

道路の未来を考える